

## 当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	2023年10月25日まで（2013年7月11日設定）	
運用方針	短期ロシアルーブル債マザーファンド受益証券への投資を通じて、ロシアルーブル建ての短期公社債を実質的な主要投資対象とし、利子収益の確保および値上がり益の獲得をめざします。 マザーファンド受益証券の組入比率は高位を維持することを基本とします。 デュレーション調整等のため、債券先物取引等を利用する場合があります。 実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。	
主要運用対象	ベビーフンド	短期ロシアルーブル債マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	マザーファンド	ロシアルーブル建ての短期公社債を主要投資対象とします。
主な組入制限	ベビーフンド	外貨建資産への実質投資割合に制限を設けません。
	マザーファンド	外貨建資産への投資割合に制限を設けません。
分配方針	経費等控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。なお、第2計算期末までの間は、収益の分配は行いません。	

※当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。  
 ※公募株式投資信託は税法上、「NISA（少額投資非課税制度）およびジュニアNISA（未成年者少額投資非課税制度）」の適用対象です。  
 詳しくは販売会社にお問い合わせください。

## 運用報告書（全体版）

短期ロシアルーブル債オープン  
（毎月分配型）

第107期（決算日：2022年5月25日）  
 第108期（決算日：2022年6月27日）  
 第109期（決算日：2022年7月25日）  
 第110期（決算日：2022年8月25日）  
 第111期（決算日：2022年9月26日）  
 第112期（決算日：2022年10月25日）



## 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。  
 さて、お手持ちの「短期ロシアルーブル債オープン（毎月分配型）」は、去る10月25日に第112期の決算を行いましたので、法令に基づいて第107期～第112期の運用状況をまとめてご報告申し上げます。

今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。



## 三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号  
 ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客様専用  
フリーダイヤル **0120-151034**  
 （受付時間：営業日の9:00～17:00、  
 土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く）

お客様の取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

## 本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

## ○最近30期の運用実績

決算期	基 (分配落)	準 価 額			債 組 入 比	券 率 率	債 先 物 比	券 率 率	純 資 産 総 額
		税 分	込 配	み 期 金 騰 落					
	円		円		%	%	%	百万円	
83期(2020年5月25日)	5,190		30		5.3	93.1	—	834	
84期(2020年6月25日)	5,295		30		2.6	93.2	—	853	
85期(2020年7月27日)	5,123		20	△	2.9	93.0	—	829	
86期(2020年8月25日)	4,903		20	△	3.9	94.6	—	796	
87期(2020年9月25日)	4,687		20	△	4.0	93.8	—	754	
88期(2020年10月26日)	4,724		20		1.2	93.9	—	759	
89期(2020年11月25日)	4,751		20		1.0	92.7	—	752	
90期(2020年12月25日)	4,770		20		0.8	91.0	—	745	
91期(2021年1月25日)	4,696		20	△	1.1	94.7	—	723	
92期(2021年2月25日)	4,889		20		4.5	95.3	—	728	
93期(2021年3月25日)	4,768		20	△	2.1	94.3	—	701	
94期(2021年4月26日)	4,830		20		1.7	93.6	—	695	
95期(2021年5月25日)	4,947		20		2.8	93.8	—	711	
96期(2021年6月25日)	5,072		20		2.9	93.9	—	718	
97期(2021年7月26日)	4,958		20	△	1.9	93.3	—	696	
98期(2021年8月25日)	4,927		20	△	0.2	93.3	—	692	
99期(2021年9月27日)	5,000		20		1.9	93.7	—	682	
100期(2021年10月25日)	5,251		20		5.4	92.6	—	698	
101期(2021年11月25日)	4,983		20	△	4.7	92.5	—	643	
102期(2021年12月27日)	5,093		20		2.6	93.7	—	644	
103期(2022年1月25日)	4,611		20	△	9.1	92.1	—	585	
104期(2022年2月25日)	4,093		20	△	10.8	90.9	—	521	
105期(2022年3月25日)	426		0	△	89.6	—	—	53	
106期(2022年4月25日)	357		0	△	16.2	—	—	44	
107期(2022年5月25日)	357		0		0.0	—	—	44	
108期(2022年6月27日)	356		0	△	0.3	—	—	44	
109期(2022年7月25日)	356		0		0.0	—	—	44	
110期(2022年8月25日)	356		0		0.0	—	—	44	
111期(2022年9月26日)	356		0		0.0	—	—	44	
112期(2022年10月25日)	356		0		0.0	—	—	44	

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

## ○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決 算 期	年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	券 率
			騰 落 率	率			
第107期	(期 首) 2022年 4 月25日	円 357		% —		% —	
	4 月末	357	0.0	—	—	—	
	(期 末) 2022年 5 月25日	357	0.0	—	—	—	
第108期	(期 首) 2022年 5 月25日	357		—		—	—
	5 月末	357	0.0	—	—	—	
	(期 末) 2022年 6 月27日	356	△0.3	—	—	—	
第109期	(期 首) 2022年 6 月27日	356		—		—	—
	6 月末	356	0.0	—	—	—	
	(期 末) 2022年 7 月25日	356	0.0	—	—	—	
第110期	(期 首) 2022年 7 月25日	356		—		—	—
	7 月末	356	0.0	—	—	—	
	(期 末) 2022年 8 月25日	356	0.0	—	—	—	
第111期	(期 首) 2022年 8 月25日	356		—		—	—
	8 月末	356	0.0	—	—	—	
	(期 末) 2022年 9 月26日	356	0.0	—	—	—	
第112期	(期 首) 2022年 9 月26日	356		—		—	—
	9 月末	356	0.0	—	—	—	
	(期 末) 2022年10月25日	356	0.0	—	—	—	

(注) 騰落率は期首比。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

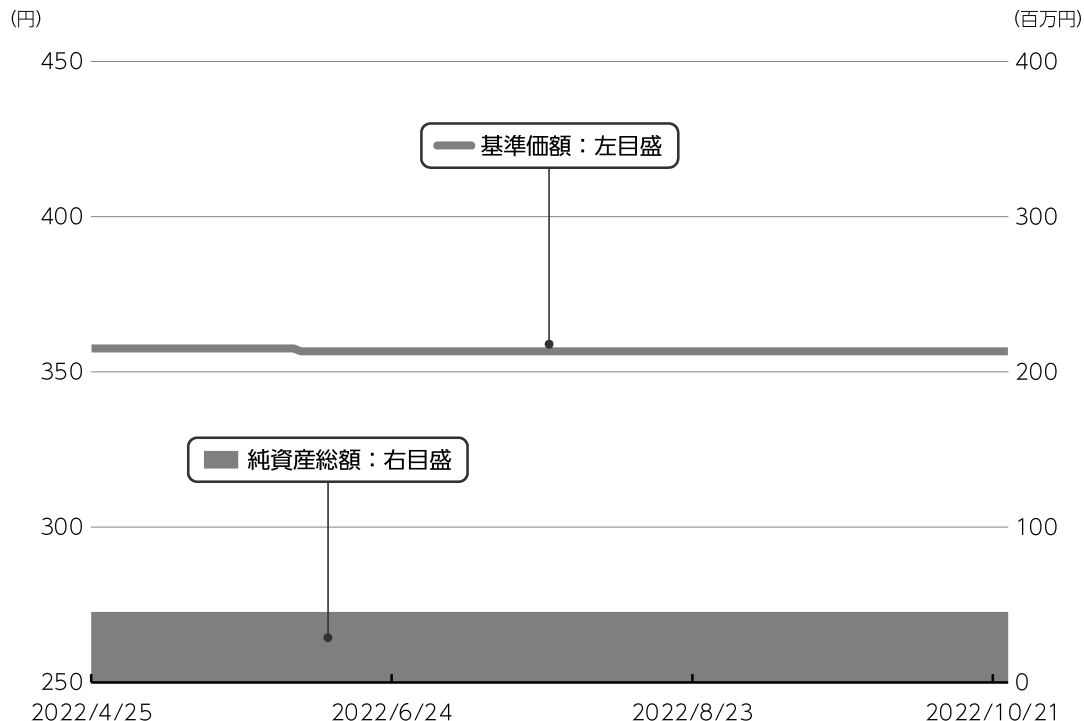
(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

# 運用経過

第107期～第112期：2022年4月26日～2022年10月25日

## ▶ 当作成期中の基準価額等の推移について

### 基準価額等の推移



第107期首	357円
第112期末	356円
既払分配金	0円
騰落率	-0.3%

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

### 基準価額の動き

基準価額は当作成期首に比べ0.3%の下落となりました。

### ▶ 基準価額の変動要因

#### 下落要因

信託報酬の計上などが、基準価額の下落要因となりました。

第107期～第112期：2022年4月26日～2022年10月25日

## 投資環境について

### ▶ 債券市況

ロシアの債券市場では、非居住者による取引が困難な状況が継続しました。

2022年2月下旬にロシアがウクライナ侵攻を開始したことを受けて実施された欧米諸国によるロシアへの経済制裁が維持されたことなどから、作成期を通じて、非居住者によるロシア国債の取引が困難

な状況が継続しました。

### ▶ 為替市況

ロシアルーブルは対円で上昇しました。

欧米諸国によるロシアへの経済制裁を受けてロシア政府が導入した資本取引規制などを背景に、ロシアルーブルは対円で上昇しました。

## 当該投資信託のポートフォリオについて

### ▶ 短期ロシアルーブル債オープン（毎月分配型）

短期ロシアルーブル債マザーファンド受益証券への投資を通じてロシアルーブル建ての短期公社債に実質的な投資をしました。

### ▶ 短期ロシアルーブル債マザーファンド

ロシアルーブル建ての短期公社債を主要投資対象とし、作成期を通じて残存期間3年以内のロシアルーブル建て国債（当該債券）を中心に組み入れました。

ロシア市場の流動性悪化などを背景に、当該債券評価入手先の主力価格情報会社による価格算出が不可となったことなどを受け、2022年3月10日以降、組入債券の評価価格をゼロとしています。

当該債券の一部において、利息が本来の支払期日から30日を超過しても支払われない状況が発生し、当該債券の利息を受け取る見込みが立たないことを受けて、2022年4月6日以降は、組入債券に関して保有期間に応じて日々計上している未収利息の評価をゼロとしています。

## 当該投資信託のベンチマークとの差異について

当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。従って、ベンチマークおよび参考指数との対比は表記できません。

## 分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

### 分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項目	第107期 2022年4月26日～ 2022年5月25日	第108期 2022年5月26日～ 2022年6月27日	第109期 2022年6月28日～ 2022年7月25日	第110期 2022年7月26日～ 2022年8月25日	第111期 2022年8月26日～ 2022年9月26日	第112期 2022年9月27日～ 2022年10月25日
当期分配金 (対基準価額比率)	— (—%)	— (—%)	— (—%)	— (—%)	— (—%)	— (—%)
当期の収益	—	—	—	—	—	—
当期の収益以外	—	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額	2,603	2,603	2,603	2,603	2,603	2,603

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

(注) 投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはありません。

## 今後の運用方針 （作成対象期間末での見解です。）

▶ **短期ロシアルーブル債オープン（毎月分配型）**  
短期ロシアルーブル債マザーファンド受益証券の組入比率を高位とする方針です。

▶ **短期ロシアルーブル債マザーファンド**  
欧米諸国によるロシアへの経済制裁などを背景に、ロシア市場の状況は流動的で見通すことは極めて困難なため、動向を注視しながら適切に運用を行う方針です。



2022年4月26日～2022年10月25日

## 1万口当たりの費用明細

項目	第107期～第112期		項目の概要
	金額 (円)	比率 (%)	
(a) 信託報酬	0	0.017	(a) 信託報酬 = 作成期中の平均基準価額 × 信託報酬率 × (作成期中の日数 ÷ 年間日数)
（投信会社）	(0)	(0.006)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
（販売会社）	(0)	(0.006)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(0)	(0.006)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) その他費用	0	0.069	(b) その他費用 = 作成期中のその他費用 ÷ 作成期中の平均受益権口数
（保管費用）	(0)	(0.054)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
（監査費用）	(0)	(0.002)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
（その他）	(0)	(0.013)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合計	0	0.086	

作成期中の平均基準価額は、356円です。

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

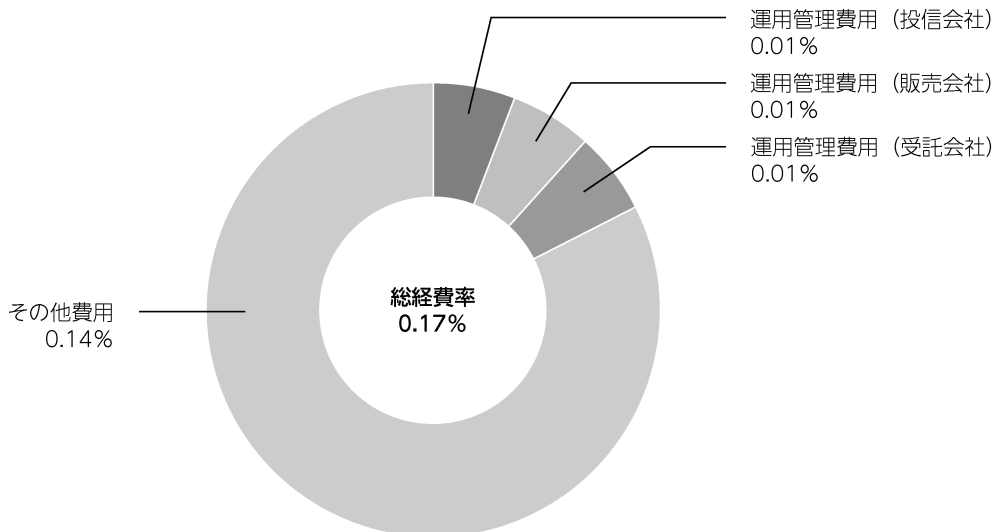
(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## （参考情報）

### ■ 総経費率

当作成対象期間の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を作成中の平均受益権口数に作成中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は0.17%**です。



(注) 費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## ○売買及び取引の状況

(2022年4月26日～2022年10月25日)

## 親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘	柄	第107期～第112期			
		設 定		解 約	
		口 数	金 額	口 数	金 額
		千口	千円	千口	千円
短期ロシアルーブル債マザーファンド		—	—	2,293	157

## ○利害関係人との取引状況等

(2022年4月26日～2022年10月25日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ○組入資産の明細

(2022年10月25日現在)

## 親投資信託残高

銘	柄	第106期末	第112期末	
		口 数	口 数	評 価 額
		千口	千口	千円
短期ロシアルーブル債マザーファンド		649,434	647,141	44,458

## ○投資信託財産の構成

(2022年10月25日現在)

項 目	第112期末	
	評 価 額	比 率
短期ロシアルーブル債マザーファンド	千円 44,458	% 99.7
コール・ローン等、その他	113	0.3
投資信託財産総額	44,571	100.0

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第107期末	第108期末	第109期末	第110期末	第111期末	第112期末
	2022年5月25日現在	2022年6月27日現在	2022年7月25日現在	2022年8月25日現在	2022年9月26日現在	2022年10月25日現在
	円	円	円	円	円	円
(A) 資産	44,786,372	44,671,209	44,615,960	44,574,039	44,572,637	44,571,187
コール・ローン等	150,462	155,113	141,553	112,517	112,378	112,421
短期ロシアルール債マザーファンド(評価額)	44,627,545	44,511,092	44,464,406	44,461,297	44,459,987	44,458,631
未収入金	8,365	5,004	10,001	225	272	135
(B) 負債	50,330	55,249	41,920	1,400	1,449	1,311
未払信託報酬	50,173	55,079	41,775	1,240	1,282	1,161
その他未払費用	157	170	145	160	167	150
(C) 純資産総額(A-B)	44,736,042	44,615,960	44,574,040	44,572,639	44,571,188	44,569,876
元本	1,253,411,772	1,253,411,772	1,253,411,772	1,253,411,772	1,253,411,772	1,253,411,772
次期繰越損益金	△1,208,675,730	△1,208,795,812	△1,208,837,732	△1,208,839,133	△1,208,840,584	△1,208,841,896
(D) 受益権総口数	1,253,411,772口	1,253,411,772口	1,253,411,772口	1,253,411,772口	1,253,411,772口	1,253,411,772口
1万口当たり基準価額(C/D)	357円	356円	356円	356円	356円	356円

## ○損益の状況

項 目	第107期	第108期	第109期	第110期	第111期	第112期
	2022年4月26日～ 2022年5月25日	2022年5月26日～ 2022年6月27日	2022年6月28日～ 2022年7月25日	2022年7月26日～ 2022年8月25日	2022年8月26日～ 2022年9月26日	2022年9月27日～ 2022年10月25日
	円	円	円	円	円	円
(A) 有価証券売買損益	0	△ 64,833	0	△ 1	△ 2	△ 1
売買益	1	1	1	1	1	1
売買損	△ 1	△ 64,834	△ 1	△ 2	△ 3	△ 2
(B) 信託報酬等	△ 50,330	△ 55,249	△ 41,920	△ 1,400	△ 1,449	△ 1,311
(C) 当期繰越益金(A+B)	△ 50,330	△ 120,082	△ 41,920	△ 1,401	△ 1,451	△ 1,312
(D) 前期繰越損益金	△ 676,183,947	△ 676,234,277	△ 676,354,359	△ 676,396,279	△ 676,397,680	△ 676,399,131
(E) 追加信託差損益金	△ 532,441,453	△ 532,441,453	△ 532,441,453	△ 532,441,453	△ 532,441,453	△ 532,441,453
(配当等相当額)	( 297,015,322)	( 297,015,322)	( 297,015,322)	( 297,015,322)	( 297,015,322)	( 297,015,322)
(売買損益相当額)	(△ 829,456,775)	(△ 829,456,775)	(△ 829,456,775)	(△ 829,456,775)	(△ 829,456,775)	(△ 829,456,775)
(F) 計(C+D+E)	△1,208,675,730	△1,208,795,812	△1,208,837,732	△1,208,839,133	△1,208,840,584	△1,208,841,896
(G) 収益分配金	0	0	0	0	0	0
次期繰越損益金(F+G)	△1,208,675,730	△1,208,795,812	△1,208,837,732	△1,208,839,133	△1,208,840,584	△1,208,841,896
追加信託差損益金	△ 532,441,453	△ 532,441,453	△ 532,441,453	△ 532,441,453	△ 532,441,453	△ 532,441,453
(配当等相当額)	( 297,015,322)	( 297,015,322)	( 297,015,322)	( 297,015,322)	( 297,015,322)	( 297,015,322)
(売買損益相当額)	(△ 829,456,775)	(△ 829,456,775)	(△ 829,456,775)	(△ 829,456,775)	(△ 829,456,775)	(△ 829,456,775)
分配準備積立金	29,354,255	29,354,255	29,354,255	29,354,255	29,354,255	29,354,255
繰越損益金	△ 705,588,532	△ 705,708,614	△ 705,750,534	△ 705,751,935	△ 705,753,386	△ 705,754,698

(注) (A) 有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (B) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) (E) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

## &lt;注記事項&gt;

- ① 作成期首（前作成期末）元本額 1,253,411,772円  
 作成期中追加設定元本額 0円  
 作成期中一部解約元本額 0円

また、1口当たり純資産額は、作成期末0.0356円です。

- ② 純資産総額が元本額を下回っており、その差額は1,208,841,896円です。

## ③ 分配金の計算過程

項 目	2022年4月26日～ 2022年5月25日	2022年5月26日～ 2022年6月27日	2022年6月28日～ 2022年7月25日	2022年7月26日～ 2022年8月25日	2022年8月26日～ 2022年9月26日	2022年9月27日～ 2022年10月25日
費用控除後の配当等収益額	－円	－円	－円	－円	－円	－円
費用控除後・繰越大損金補填後の有価証券売買等損益額	－円	－円	－円	－円	－円	－円
収益調整金額	297,015,322円	297,015,322円	297,015,322円	297,015,322円	297,015,322円	297,015,322円
分配準備積立金額	29,354,255円	29,354,255円	29,354,255円	29,354,255円	29,354,255円	29,354,255円
当ファンドの分配対象収益額	326,369,577円	326,369,577円	326,369,577円	326,369,577円	326,369,577円	326,369,577円
1万口当たり収益分配対象額	2,603円	2,603円	2,603円	2,603円	2,603円	2,603円
1万口当たり分配金額	－円	－円	－円	－円	－円	－円
収益分配金金額	－円	－円	－円	－円	－円	－円

\*三菱UFJ国際投信では本資料のほかに当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ (<https://www.am.mufg.jp/>) をご覧ください。

【お知らせ】

- ①足下のロシア情勢を受け、取引規制や流動性をふまえた運用状況に応じ、一時的な信託報酬率の引き下げを可能にするため、信託報酬率を変更し、信託約款に所要の変更を行いました。  
(2022年7月23日)
- ②当ファンドの決算日（2022年10月25日）時点においては、ロシア情勢緊迫化に伴い、設定・解約のお申込み受付を停止しております。なお、最新の情報については、当社HP (<https://www.am.mufg.jp/>) をご確認ください。

## 短期ロシアルーブル債マザーファンド

### 《第19期》決算日2022年10月25日

[計算期間：2022年4月26日～2022年10月25日]

「短期ロシアルーブル債マザーファンド」は、10月25日に第19期の決算を行いました。  
以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第19期の運用状況をご報告申し上げます。

運 用 方 針	<p>ロシアルーブル建ての短期公社債を主要投資対象とし、利子収益の確保および値上がり益の獲得をめざします。</p> <p>投資にあたっては、ロシアの国債、政府機関債等ならびにロシアルーブル建ての国際機関債に投資を行います。</p> <p>投資する公社債の残存年数は3年未満とします。</p> <p>金利や物価の動向、経済情勢や投資環境等を勘案してポートフォリオを構築します。</p> <p>デュレーション調整等のため、債券先物取引等を利用する場合があります。</p> <p>組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。</p>
主 要 運 用 対 象	ロシアルーブル建ての短期公社債を主要投資対象とします。
主 な 組 入 制 限	外貨建資産への投資割合に制限を設けません。

### ○最近5期の運用実績

決 算 期	基 準	価 額		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	純 資 産 額
		期 騰 落	中 率			
	円		%	%	%	百万円
15期(2020年10月26日)	8,435	△ 1.4		94.2	—	757
16期(2021年4月26日)	8,905	5.6		93.8	—	694
17期(2021年10月25日)	9,988	12.2		92.9	—	696
18期(2022年4月25日)	688	△93.1		—	—	44
19期(2022年10月25日)	687	△ 0.1		—	—	44

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

年	月	日	基 準 価 額	騰 落 率		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	券 率
				騰	落			
	(期 首)		円		%			%
	2022年	4月25日	688	—	—			—
	4月末		688		0.0			—
	5月末		688		0.0			—
	6月末		687		△0.1			—
	7月末		687		△0.1			—
	8月末		687		△0.1			—
	9月末		687		△0.1			—
	(期 末)							
	2022年	10月25日	687		△0.1			—

(注) 騰落率は期首比。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

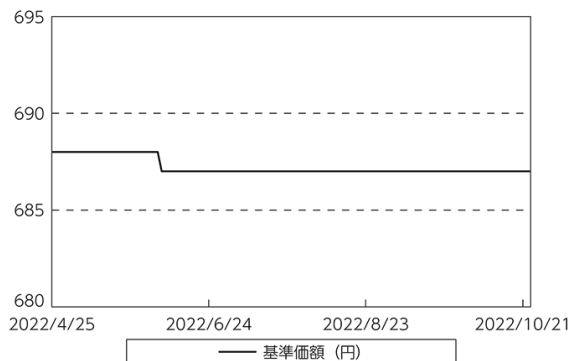
## ○運用経過

## ●当期中の基準価額等の推移について

## ◎基準価額の動き

基準価額は期首に比べ0.1%の下落となりました。

## 基準価額等の推移



## ●基準価額の変動要因

## (下落要因)

- ・費用の計上などが、基準価額の下落要因となりました。

## ●投資環境について

## ◎債券市況

- ・ロシアの債券市場では、非居住者による取引が困難な状況が継続しました。
- ・2022年2月下旬にロシアがウクライナ侵攻を開始したことを受けて実施された欧米諸国によるロシアへの経済制裁が維持されたことなどから、期を通じて、非居住者によるロシア国債の取引が困難な状況が継続しました。

## ◎為替市況

- ・ロシアルーブルは対円で上昇しました。
- ・欧米諸国によるロシアへの経済制裁を受けてロシア政府が導入した資本取引規制などを背景に、ロシアルーブルは対円で上昇しました。



## ●当該投資信託のポートフォリオについて

- ・ロシアルーブル建ての短期公社債を主要投資対象とし、期を通じて残存期間3年以内のロシアルーブル建て国債（当該債券）を中心に組み入れました。
- ・ロシア市場の流動性悪化などを背景に、当該債券評価入手先の主力価格情報会社による価格算出が不可となったことなどを受け、2022年3月10日以降、組入債券の評価価格をゼロとしています。
- ・当該債券の一部において、利息が本来の支払期日から30日を超過しても支払われない状況が発生し、当該債券の利息を受け取る見込みが立たないことを受けて、2022年4月6日以降は、組入債券に関して保有期間に応じて日々計上している未収利息の評価をゼロとしています。

## ○今後の運用方針

- ・欧米諸国によるロシアへの経済制裁などを背景に、ロシア市場の状況は流動的で見通すことは極めて困難なため、動向を注視しながら適切に運用を行う方針です。

## ○1万口当たりの費用明細

(2022年4月26日～2022年10月25日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用	円 0	% 0.067	(a)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(0)	(0.054)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
（ そ の 他 ）	(0)	(0.013)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	0	0.067	
期中の平均基準価額は、687円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## ○売買及び取引の状況

(2022年4月26日～2022年10月25日)

該当事項はございません。

## ○利害関係人との取引状況等

(2022年4月26日～2022年10月25日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ○組入資産の明細

(2022年10月25日現在)

## 外国公社債

## (A)外国(外貨建)公社債 種類別開示

区分	当 期 末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
ロシア	千ロシアルーブル 375,000	千ロシアルーブル —	千円 —	% —	% —	% —	% —	% —
合 計	375,000	—	—	—	—	—	—	—

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) ロシアルーブル建て債券の評価価格において、組入債券評価の入手先として定めている主力価格情報会社が2022年3月9日より算出不可となったことなどから、当該債券の評価価格をゼロとしています。

## (B)外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘 柄			当 期 末				
			利 率	額面金額	評 価 額		償還年月日
					外貨建金額	邦貨換算金額	
ロシア		%	千ロシアルーブル	千ロシアルーブル	千円		
	国債証券	7.0	124,000	—	—	2023/8/16	
		7.1	169,000	—	—	2024/10/16	
		7.4	82,000	—	—	2024/7/17	
合 計					—		

## ○投資信託財産の構成

(2022年10月25日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
コール・ローン等、その他	千円 44,468	% 100.0
投資信託財産総額	44,468	100.0

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2022年10月25日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	44,468,243
コール・ローン等	44,468,243
(B) 負債	225
未払解約金	135
未払利息	90
(C) 純資産総額(A-B)	44,468,018
元本	647,141,658
次期繰越損益金	△602,673,640
(D) 受益権総口数	647,141,658口
1万口当たり基準価額(C/D)	687円

## &lt;注記事項&gt;

- ①期首元本額 649,434,665円  
 期中追加設定元本額 0円  
 期中一部解約元本額 2,293,007円  
 また、1口当たり純資産額は、期末0.0687円です。

- ②期末における元本の内訳（当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額）

短期ロシアルーブル債オープン（毎月分配型） 647,141,658円

- ③純資産総額が元本額を下回っており、その差額は602,673,640円です。

## ○損益の状況 (2022年4月26日～2022年10月25日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 6,974
受取利息	33
支払利息	△ 7,007
(B) 保管費用等	△ 29,909
(C) 当期損益金(A+B)	△ 36,883
(D) 前期繰越損益金	△604,772,128
(E) 解約差損益金	2,135,371
(F) 計(C+D+E)	△602,673,640
次期繰越損益金(F)	△602,673,640

- (注) (E)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。